

## 会 議 録

会議の名称	平成 26 年度第 2 回茨木市文化振興施策推進委員会 (第 1 回) 文化芸術ホール建設基本構想策定専門部会
開催日時	平成 26 年 6 月 24 日 (火) (午前・ <u>午後</u> ) 1 時 00 分 開会 (午前・ <u>午後</u> ) 3 時 00 分 閉会
開催場所	市役所南館 3 階 防災会議室
議 長	出口 正之 (国立民族学博物館民族文化研究部教授)
出席者	栗本 智代 (大阪ガス株式会社エネルギー・文化研究所主席研究員)、 松本 雅裕 (公益財団法人茨木市文化振興財団理事長)、山野 寿 (一般社 団法人茨木市観光協会会長)、飯嶋 豊 (茨木市音楽芸術協会会長) 【4 人】
欠席者	なし 【0 人】
事務局職員	大西 稔 (市民文化部長)、原田 茂樹 (市民文化部理事)、小田 佐衣子 (市民文化部副理事兼文化振興課長)、庄田 哲也 (文化振興課長代理)、 辻田 新一 (文化振興課主幹)、平本 政治 (八千代エンジニアリング株式 会社)、高松 亮太 (八千代エンジニアリング株式会社) 【7 人】
開催形態	<u>公開</u> / 非公開
議題 (案件)	(1) 市民会館の現状と課題について (2) 市内類似施設の現状について (3) 意見交換
配布資料	(1) 次第 (2) 配席図【資料 1】 (3) 委員名簿【資料 2】 (4) 委員会関係条例・規則等【資料 3】 (5) 説明資料【資料 4】【資料 5】【資料 6】 (6) 委員会スケジュール【資料 7】

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>1. 開会</p> <p>茨木市文化振興施策推進委員会 文化芸術ホール建設基本構想策定専門部会を開催する。開会にあたり、大西市民文化部長からご挨拶申し上げます。</p>
市民文化部長	<p>茨木市文化振興施策推進委員会文化芸術ホール建設基本構想策定専門部会開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。</p> <p>本日は何かとご多忙の中、ご出席いただき、また、この度の本委員就任のお願いに際し、快くご承諾いただきありがとうございます。</p> <p>本委員会は、文化振興に係る計画の策定、推進、及び見通しに関すること、文化芸術施設に係る基本構想の策定推進に関することについて審議いただくことを目的としており、市民、学識経験者、関係団体の皆様のご意見をいただき、文化振興に係る各施策に反映させていきたいと考えている。</p> <p>本委員会は文化振興ビジョン策定と、文化芸術ホール建設基本構想策定の各専門部会を設けており、本日は第1回目のホール建設の部会を開催させていただくものである。</p> <p>新たなホールの建設については、昨年度より阪急茨木市駅東口の双葉町駐輪・駐車場の市有地について、文化芸術ホールを中心とした賑わい創出のための複合施設の建設可能性調査を実施するとともに、各団体からの聞き取り調査などを行い、本年度は具体的なホールの構成などの検討を行い、基本構想としてまとめていきたいと考えている。この事業については、人々の関心も高く、先日閉会した、6月定例市議会本会においても、この事業を慎重に進めるべきではないかとの意見も出されるなど、注目を集めている事業でもあるので、皆様方の忌憚のないご意見を賜ってまいりたく考えている。</p> <p>今後、委員の皆様方には何かとご苦勞をおかけすることになるかと思うが、よろしくごお願い申し上げ、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。</p>
事務局	<p>それでは、第1回の専門部会会議に入っていきたい。</p> <p>議事の審議に先立ち、委員の皆様をご紹介させていただきます。</p> <p>(委員紹介)</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	次に茨木市事務局の出席者を紹介させていただきます。  (茨木市事務局出席者紹介)
事務局	続いて当委員会の組織等に関する規定であるが、委員会規則第3条から7条までで、組織等、委員長等、会議の項目を規定している。 本日の会議では、次第にあるように、文化芸術ホール建設基本構想策定に向け、市民会館の現状と課題、市内類似施設の現状等についてご説明した後、みなさまからご質問やご意見をいただきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。 それでは、最初に委員長から一言ご挨拶を賜りたい。委員長よろしくお願ひする。
委員長	文化振興施策推進委員会の時にも、ご挨拶させていただいたので、多少重なるかもしれないが、専門部会であるので、手短にご挨拶だけさせていただきます。 私どもは、地方自治法138条の付属機関ということで、茨木市でしっかりと条例を作ってください、議会も当然オーソライズした形での、委員会であるので、皆様方の専門的な知識、御経験に従って、できるだけ自由闊達なご意見を言っていただけたらと思っている。 推進委員会の冒頭の時に申し上げたが、茨木市の市歌で、一番が抽象的なビジョン、三番が「理想の都」とこれも抽象的である。二番が「文化の都」となっており、昭和23年に作られているので、その時で言う「文化」というのは、独特の、つまり戦争状態から新しい日本に生まれ変わるということで、「文化」という言葉が大変いろんなところで使われた時の「文化」でしょうけど、今21世紀としてみると、ここだけ具体性を持って、「文化の都茨木市」というのが、市歌に歌われている。 こういうことを背景にそこを強く、このビジョンを議論していきながら、21世紀の新しい文化芸術の発展、あるいは茨木市民の人たちの活力、生きがい、そういったものに反映するような議論が皆さんのお力で、できればと思っているところである。何卒ご闊達なご意見をお願ひする。
事務局	それでは、これからの議事は、茨木市文化振興施策推進委員会規則第6条の規定により、先に開催された文化振興施策推進委員会文化振興ビジョン策定専門部会において、委員の互選により選出された委員長に、議長を務めていただく。よろしくお願ひする。

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員長	<p>それでは、次第に沿って議事を進めさせていただく。なお、会議の終了時刻は午後 3 時くらいを予定しており、事前にご案内したとおり、休憩を挟んで市民会館と新しい文化芸術ホールの建設予定地である阪急茨木市東口の現地の見学をする予定になっている。午後 4 時くらいを終了としているので、暑い中ではあるが、ご協力の程よろしく願います。</p> <p>次に本日の委員の出席状況の報告を事務局から願います。</p>
事務局	<p>会議については、委員会規則第 6 条第 2 項により、委員の総数の 2 分の 1 以上の出席がなければ会議を開くことができないが、本日は 5 名の委員に出席していただいているため、会議は有効に成立している。</p>
委員長	<p>今回の議事の進行にあたり、本会議の公開について諮りたい。まずは事務局から説明願いたい。</p>
事務局	<p>会議の公開について説明する。本市では、審議会等の会議は、個人に関する情報を審議する場合などを除き、公開を原則として審議会等に諮った上で決定することとしている。また、審議に関して提出された資料についても、審議会等の同意を得て、傍聴人に閲覧、配布することができることとしている。</p>
委員長	<p>ただいま事務局から会議の公開についての説明があったが、今後、非公開とすべき事案が発生したときには、会議の非公開を決定することとし、それまでは原則に基づいて会議は公開とし、資料についても、傍聴者への閲覧、配布を許可したいと思う。ご異議はあるか。</p> <p>(異議なし)</p>
委員長	<p>それでは、本日の会議についても公開とさせていただきます。</p> <p>(傍聴者入室)</p>
委員長	<p>続いて、会議録及び会議資料の公開について諮りたいと思う。事務局から説明願いたい。</p>
事務局	<p>会議録及び会議資料の公開について説明する。会議の終了後は、会議録の作成とその公表に努めているところであり、この文化振興施策推進委員会の審議についても公表を予定している。会議録の内容について、公開す</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員長	<p>ることにしたいと考えている。また、委員の皆様からの意見について氏名を出さずに公表したいと考えている。</p> <p>ただ今、事務局から提案があったとおり、会議録及び会議の資料については、公開とさせていただきます。ただ、会議録に関する事項について、公開ではあるが、各委員からの発言について、個人が特定できると、会議での発言が活発にできない、ということもあろうかと思うので、名前は伏せて、「委員」という形で公表させていただきたいが、いかがか。</p> <p>(異議なし)</p>
委員長	<p>次に茨木市文化振興施策推進委員会の設置趣旨等について事務局から説明願いたい。</p>
事務局	<p>茨木市文化振興施策推進委員会の設置趣旨等について、説明させていただく。当委員会は、文化振興に係る計画の策定、推進、及び見直しに関する事項、文化芸術施設に係る基本構想の策定、及び推進に関する事項、その他、文化振興に関わる事項についての、審議に関する事務として、茨木市付属機関設置条例を根拠としている。</p> <p>具体的には、昨年度から検討を始めている、文化施策の今後のあり方を示す文化振興ビジョンの策定と、市民会館に代わる新たな文化施設である文化芸術ホール建設基本構想の策定について、2つの部会に分かれ、今回は、文化芸術ホールの基本構想策定専門部会を開催している。文化芸術ホール建設基本構想策定の専門部会では、配布資料2にあるとおり、委員の先生方にご出席をいただいている。</p>
委員長	<p>事務局の説明について、質問等はあるか。</p> <p>(質問なし)</p>
事務局	<p>先ほど冒頭で申し上げたとおり、この委員会は、地方自治法138条をベースにして、茨木市の付属機関設置条例という形で、委員会が組織されているので、闊達な意見いただきたい。</p> <p>それでは、審議に入りたい。議事内容について、事務局から説明願いたい。</p>
事務局	<p>文化芸術ホール建設基本構想策定の趣旨について、説明を申し上げる。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>市では現在、駅前の賑わい創出の一環として、阪急茨木市駅東口前に、現在の市民会館に代わる大ホールを中心とした複合施設を設けることを検討している。この件に関し、庁内の関係各課とともに、検討会議を行うと共に、平成 24 年度茨木市社会教育関係団体登録団体の文化関係団体の 13 団体及び茨木市文化振興財団に対し、文化芸術ホールに関する調査を実施している。また、平成 25 年度には複合施設整備にあたっての基本的条件となる社会的、法的条件等を把握、整理の上、導入機能、施設の概略検討、並びに概算の事業規模を設定し、事業手法として、民間活力の可能性、及び事業化にあたっての実現方策について検討するため、阪急茨木市駅東口賑わい創出複合施設整備検討業務委託を、また、平成 26 年には本市の重点施策である文化振興と市民協働によるまちづくりを推進するために、新たな文化芸術ホール建設のための基本構想を策定し、本市の文化芸術振興のさらなる発展を目指すことを目的として、文化芸術ホール建設基本構想策定業務委託を行っている。</p> <p>文化芸術ホール建設の背景としては、現在の市民会館は昭和 44 年に竣工し 45 年が経過、市民から親しまれ広く利用されているが、経年劣化が進み、施設の維持経費がかさむと共に、各設備も旧式化しており、現在の多様化した利用形態に対応することができなくなっている。現在の場所での建て替えも検討していたが、敷地の形状や面積、また、経費など多くの課題があることから、用地や建設手法の検討や、その条件整備に努めることとし、この度、阪急茨木市駅東口に新たなホールを含む複合施設の建設を目指すこととしたものである。</p> <p>今後は、今年度着手予定の文化振興ビジョンにおける文化施策の方向性に合わせるとともに、立命館大学の市民開放施設には、1000 人規模のホールも予定されていることから、当専門部会で、ご意見をいただくとともに、利用目的、広さ、運営方法等について、庁内関係部署とも連携を図り、市民ニーズ等を踏まえ、検討してまいりたいと考えている。</p>
事務局	<p>資料 4 の市内の既存ホール等の現状について主に説明する。参考資料の資料 5 でより詳しく載せている。</p> <p>(資料 4 : 文化芸術ホール建設基本構想策定専門部会資料の説明)</p>
委員長	<p>事務局から、既存の施設を中心にご説明いただいた。既存のものの領域から広がっても結構なので、自由に質問・意見をいただきたい。</p>
委員	<p>現在の市民会館は、耐震の面からどうしようもなく、今の場所での建替</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員	<p>えもむずかしい。新たに検討されている、阪急東口は非常にアクセスが良い。</p> <p>現在、茨木市が所有している施設は、全て地の利があまり良くない。きらめきホールにしても、市民が「さあ、いこうかな」という気には、なかなか立地にならないような立地になっている。立地の点から行くと、私は申し分ないと思う。それと、もう一つは、きちんとしたホール、オーケストラもできるようなホールが茨木はない。立命館大学でも市民の利用に対応されるといわれているが、自治体として主体性がない。議会が様子を見てから判断すると言っているのは、私はちょっとよくわからない。</p> <p>3つの施設は、全て複合施設というような作りをされており、いろいろな部分でホール専用の使い方ができないようになっている。舞台の奥行きがないとか、音響等いろいろな問題がある。搬入路に関しては、オペラ等を招致すると、福祉文化会館はエレベーターしかない。市民会館はトラックを横付けて、迫（せり）を利用するしかない。クリエイトは非常にいい。そういう風な施設があるわけで、そういう芸術専用の文化活動的には、若干使いにくいかなという気はしている。あと、市民会館等は非常に古いので、雨漏り、下水の詰まりなどに非常に苦労している。こういうことが頻繁に起こっている。市民総合センターのセンターホールは、演奏家の方、あるいは演劇でも使うような方には、「このホールはものすごく一体感があって、非常にありがたい、良いホールですね。」というような評価も頂いている。</p> <p>また、福祉文化会館はこれも5階のホールで、エレベーターで上がるもので、350席という座席数なので、ホールの利用は若干少ないかなと思う。特に形態、そのものが、後ろと前からしか入れないとか、ちょっとロビーが狭いとか、不自由な面がいろいろあるという状況です。しかし一つのエリアにこうした3つのホールがあるというところはあまりなく、最近では、コンクールとか結構広い地域からの方が来られて、予選で3つのホールを使って、決勝でも使えるといったことができる。ピアノであったり、弦楽器であったりとジャンル別にもやりやすいと思っているが、全体的には、古いのは古い。特に市民会館ではバリアフリーが不十分で、直接ホールの客席へアクセスできるエレベーターがない。これも非常にネックで、1階でエレベーターに乗り、2階で降りて、そこから正面に回っていただいて横の入り口から入るといった対応となっている。エレベーターの設置は非常に難しい。大きな催し物をすると必ず利用者の方で、障がい者の方が来られるので、きちんと説明をして、ご理解をいただいた上でホールに入ってもらおうようにしている現状である。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員	<p>現市民会館は、耐震性に耐えられないということで、建替えということがもう必要ではないかと思う。近隣で最近聞いたのは、守口市民会館はもう現在閉めていて使えなくなってしまった。おそらく耐震の問題ではないかと。いずれ、茨木市市民会館も同じような状況になってくるのではないかということが一つ。市民会館、その他のホールの利用に関して今日の議題の一つに現状の問題点がある。そういうところに関しては、今日のために現状の問題点を書きだしてきまして、資料をお持ちしたので、皆様方にお渡ししたい。本日、現状を見に行くときの参考になればと資料を作ってきた。</p> <p>立命館のホールについては、来年度以降、市民が使わせていただけるような話を聞いているが、他の市が学校とタイアップしてやったが決してうまくいっていない例をちょっと耳にしており、どのくらいのホールを市の方で貸してもらえるものなのか、その辺もしっかり検討していかなければいけないのではと思っている。</p> <p>立地条件の、東口の方に関しては、非常に交通の便が良いということと、複合施設ということに関しては、大変いいのではと思う。交通の便、一つの案としてはその上にホテルを建設するような話がもし出たとすれば、レセプションとかいろんなことに活用して、近隣からもたくさんの方が来てくださって、稼働率もかなり上がってくるのではないかと思っている。今日の議題としては、問題点だけだと、理想のホールというのはどういったホールなのか、ということについての話がこれからなると思うので、そのための資料もこちらで、長年積み重ねてきたものがあるので、提供させていただきたいと思っている。</p> <p>(委員持参の資料を配布)</p>
委員	<p>立命館大学に結構巨額な投資をされているということだが、立命館大学というのが、これまで京都の方のキャンパスで、どのくらいの座席数のホールでどういう使い方をされていたのか把握しておくべきではないかと。</p>
事務局	<p>現状の把握はしていないが、いばらきキャンパスのホールは 1,000 席で、平土間ホール、コンベンションが 400 席と聞いている。</p>
委員	<p>1,000 席を超える大ホールなので、大ホールに関してどういう使い方を企画されているのか、あるいは使いこなせるような人材を立命館がお持ちなのかどうか。1年後ということなので、オープニングは派手にされると思うが、そのあと続くかどうかというところで、大学の各クラブの発表会</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>に使われるのは見えているが、それにプラスして 1000 という単位での使い方の企画があるのかというような部分を把握しながら、そこで市と手をつなぎながらやっていくというところが見えてくるのではないかと思う。そこで、それとの差別化というようなことと、市が自由に使いたいときのホールのありようというのが一つ見えてくるのかと思う。</p> <p>ホールの座席数についても、稼働率についても見せていただいたが、2 ページに書いてあるような、目玉的なものには 1000 人以上が来られたりするが、それが稼働率年間 70%の中のものしかしたら 30%くらいでしかなくて、残りの 30%はガラガラであったりとか、うまく使いこなせていないというようなことがもしかしたらあるのかなと、勝手に推測をしている。大ホールというのは梅田周辺や JR 京都駅前といった都心部でない場合では、そういうことが起こりかねないので、本当に 1400 なり大きな規模のホールを使うという心構えを持つべきだと思う。やはり、大きなコンクールをやりたいとか、そういうことにプラス、ソフトの方も一緒に作っていくというホールの作り方が非常に有効なのではないかと思う。</p> <p>資料には書いてないが、成功している西宮市の兵庫県立芸術文化センターでは、佐渡裕さんの看板で、ご本人もプロデュースされるし、地域でオーケストラも新たに起こして募っていて、大人の部、子供の部両方ソフトで発信されている。その他外からも利用者を沢山呼べると、ダブル構造で、多くの方を呼んでいる。また、ホールについては、大中小と 3 つあるが、やっぱり中ホールが非常に充実している。小ホールは完全に市民が低額で使えるというメリットで、ほぼ 100%の稼働率だと聞いている。</p> <p>ソフトもハードも立派だが、ソフトとのうまく兼ね合いがある中での企画力というところに、成功のポイントがあるかと思う。ただホールを作るのではなく、既存のソフトだけではなく、そこに茨木市独特の何か文化発信とか、これから立ち上げるものでもいいが、そこにも一緒に予算を付けて、ホールを作っていくんだという心構えがあれば、立命館がどうであろうが、そこはリンクしながらやっていくというところよりももっと強い何かコンセプトの中で、動かすことができるのではないかなと思う。難しいと思うが、これから、今どこの行政も大ホールを建替えなければいけないというところで、皆立ち止まってそこでなかなか進めないという状況でいるので、成功事例を研究しながら、いろんな方が賛同していただけるような進め方ができたらいいなと思う。</p> <p>別資料で、これから説明があるかと思うが、河内長野の市民文化会館は 90%以上の稼働率がある。私もここに詳しく関わっているが、ソフトとハードを非常に工夫されているので、そういうところの事例なども研究していきながら、どういうものを作っていくかというのを示せるといいのでは</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員長	<p>と思う。</p> <p>立命館の状況や、他の成功事例ということですのでけれども、事務局で、無理のない範囲で、もしそういった資料・情報等が入手できれば次回、提示いただきたい。</p> <p>委員からお配りいただいたもの、大変詳細にわたるものである。とりあえず事務局が後半の説明をするので、そのあと、改めてご説明頂けたらと思う。</p> <p>私の方から先ほどの2ページの来場者の多かった公演ということで、成人祭は成人式のことですよね。次に来ているのが、<b>STREET DANCE SCHOOL</b> というのが1000人ということで来ているが、ブームというのは地元ダンススタジオの名称なのか。</p>
事務局	<p>ブームというダンス教室が地元の商店街に教室をお持ちだが、その発表会で使われたと思われる。</p>
委員長	<p>一つのダンス教室の発表会で1000人を呼んでいるのか。</p>
事務局	<p>詳しくは分からないのですが、ダンス教室が集まってやっている、単独では人数が多すぎると思うので、教室が集まって発表をされているのだと思う。</p>
委員長	<p>2つ目、平成20年から建替え構想が始まったということで、先ほどの条例を見ると平成25年3月13日に設置条例ができており、要は今回の文化芸術ホールは、そもそもいつごろから議論がスタートしているという風にシンプルに聞かれたときには、平成20年くらいからと理解してよろしいか。</p>
市民文化部長	<p>平成10年の後半あたりということで、特に耐震診断のことで調査を行って、それまでからも、装備自体も古くなったし、先ほどから出ているバリアフリーの観点を合せてということで検討はしてきた。</p>
委員長	<p>最初に説明があったとおり、3か所の候補地を選んで、今は茨木市駅東口でほぼ固まったところで、この推進委員会が立ち上がったという理解でよいか。</p>
事務局	<p>そういうご理解で結構です。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員長	続いて、後半の部分を事務局から説明する。
事務局	(資料4の後半から説明)
委員長	先ほど、委員から指摘のあった近隣のホールについての説明もあった。これから3時まで時間もあるので、自由にご発言いただきたい。私から御指名させていただいてもよいか。委員から資料を含めてご意見、資料の説明をしていただければ。
委員	<p>今の説明されたところで、半分以上がこの配布資料と同じ内容となっていると思う。稼働率のことから言うと、まず、河内長野ラブリーホールとか枚方があげられるが、私もオーケストラで今挙がっているホールは殆ど演奏したことがあるが音響に問題があるのではないかということである。</p> <p>建設当時は素晴らしいという評価を得ていたが、今現在、近隣のブラスバンド、高校生ブラスバンド、大学生とか、だいたいメイシアターとか、アルカニックとかにまず真っ先に抽選に行く。茨木の市民会館を利用するの？と聞くと、「今回は茨木しかとれなかったんです」と言う。そういう言葉を聞いて非常にショックを受けた。ステージの広さとか、使い勝手、客席へのエレベーターがないことなど、ここに全部出ている。一つ一つの説明は、現地を視察しながら見ていけばわかると思う。さまざまな要因があり、とても残念である。茨木市に住んで40年以上経つが、非常にショックだった。この問題点を一つずつ、規模なら1000単位、音響に関しても、項目別に載せているので、それを参考に、現場を見て、これからの魅力に富むものになっていただければと作成した。</p> <p>過去に「オーケストラがやってきた」という山本直純、NTT提供の番組がありまして、1000人以上のホールでないとスポンサー対応ができないということで、断られた経緯がある。そういうこともあり、今回の、今提示している1300前後というホールはテレビに出るということ自体が全国にアピールができることではないかと思う。また、ホールの形状による響きの研究もされているので、理想のホールの仕様は半分以上出来上がっている。そういうことも踏まえて、響きの良いホールで、多くの皆さんに利用させていただけたらと思っている。</p> <p>あと、先ほどソフトの面言えば、私もいいお話が出たなと思ったが、ハードの面だけに、今回の委員会は集中しているが、やはり、ソフトの面、特に次世代の育成のこととか、周辺の商店街、商業とか観光を含めて、一丸となって、兵庫県芸、あそこは、お寿司屋さんが開演になって真っ先に公演を見に行くという、うらやましいというか、そういうことも聞いてい</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員長	<p>る。市民が行ってみたいと思うような企画と、市民を巻き込んだ、何かアイデア、パスポートのようなものなど、一つのアイデアをもって市民会館に集まってもらえることも重要だと思う。</p> <p>もう一つは、演奏会が終わってからの交通の便。公演が終わったら、例えば山手台の方はバスがない。ということも良く聞くので、その辺も増便するというような、これからの問題だと思うんですが、そういうところも含めて検討して頂けたらと思う。</p> <p>特に響き、音響のことを教示していただきありがたい。ソフトの話も出たので、委員、もう一度成功例のポイントなどあれば、ご指摘いただきたい。</p>
委員	<p>この会議では間接的にしか提案できないのかとは思いますが、例えば、茨木市で、先ほど次世代育成という言葉がでたが、子供を対象にミュージカルでも良いし、能でも良いし、文楽でも良いが、文化芸術を体験出来て、この市民会館で発表できるという育成から発表までのプログラムが1年計画とかで組まれたような文化塾のようなものを市の方で取り組み、そこに指導者を1, 2人呼んできて、その方の指導により、週に1回なり、子供たちに通わせて、茨木市の子供たちに文化の体験と育成をするプログラムがあると良いと思う。その発表の場がこの市民会館であるというようなものが一つあれば、稼働率としては、年間の1日か2日かもしれないが、非常に市民の文化意識というのものすごく高まって、それに関連するいろいろな演目、例えばミュージカルなり、音楽系なり、そういう塾が開講するとその関係の何かを呼んできたりだとか、市民自主劇団がその舞台に乗った時に必ず見に行くだとか、何かそういう連携をしたような文化会館でのソフトの企画というのがあれば面白いかなというようなことを考えている。そのリハーサル会場として小ホールをうまく使っていくという、小ホールの使い方というのも一つあるのかなと思う。</p> <p>河内長野市は、市の中でホールという名のものが1つしかないが、その中で、ロビーを使い、無料で地域の方が何か小さい発表会だとかされているということもある。そういうソフトの企画というのが、ものすごく優れていて、ミュージカル教室もされており、リハーサルとして小ホールを使うとか、ロビーも含めた3つか4つかの空間をものすごく上手に使われていて、その市民文化度が上がっているというのが、河内長野のポイントだと思う。</p> <p>文化会館自体が、ラブリーホールというが、ラブリーホールと聞くと河内長野市民がみんな「あそこにあるあれね。いつもあんなことやってるの</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>ね。」と結構情報発信が多々あって、特に子供を持っているファミリー層にはそれが浸透しているという形が成功ポイントではないかなと思う。シルバーの方は時間があって、お金がある方が多いので、比較的文化的芸術に少しずつシフトしていくが、若い人を育てていく、その文化度を上げていくというところでは、場所を如何に使うか、如何に使いやすい空間構成にしていくかということがポイントではないかなと思う。</p> <p>私は兵庫県に住んでいるので、市と県と違うが、芸術文化センターがおもしろい。比較的予算を沢山つけて、今どんどん黒字で運営されている。</p> <p>佐渡さんが自分で企画したり呼んできたり、面白い企画をされている。一つのオペラをするにしても、その前後でものすごく枝葉のイベントで非常に安価でできるものを企画されている。例えば、非常に大きなオペラを、三週間やりますという場合、オペラに来る方、どうしようかなと思っている方も出演者が1人出てきて、ワンコインで何か体験できるというようなプログラムを沢山作っている。芸術文化ホールの前に広い空間があるが、そこでイベントで、誰もが無料でお祭的に、通りすがりでも見られるというようなことを企画されたり、バックステージツアーをされたり、本当にワンコインで劇場に触れることができるというような企画をものすごくたくさんされている。それが平日であったり、夏休みは小学生対象であったり、いろいろなとされている。そこからホントは、1万円も5千円も出すはずのないお客様をそこにうまく沿っていくというような手法が優れている。あとは、会員制度というのをすごく上手に使われていて、ものすごくいいチラシの数だとは思いますが、無料で会員になれて、その会員は必ずネットでの優先予約の権利ももらえ、月に1、2回に分厚いチラシが送られてくる。それは兵庫県の自主企画公演に限られているが、その中で、30枚来たら1枚くらい気になるものを置いておくということがある。やっぱりそれは投資額もすごいですが、しっかりと根を生やすという効果が生まれている。最初うまく稼働するまでは大変だとは思いますが、根強く頑張っていて、忍耐強く種まきをやることでいろんな手法が今芽生えてきて、非常にブランド的にも、ここでかけられる中身は絶対に間違いないというような信用が兵庫県全体にも行き渡っているというところでは、非常に意義深いものだと思う。私も全貌を知っているわけではないが、私の知る限りでは、面白いなと思う。</p>
委員長	<p>確か兵庫県の芸術文化センターは建物ができる前から、ソフト先行で行っていた。それでは、沢山ご意見もあろうかと思う。</p>
委員	<p>ソフト部門で、実際に芸術公演をしているなかで感じることは、各団体</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>間の意見交換については、一つ一つの邦楽は邦楽、合唱は合唱、音楽は音楽といった分野別になっているのが現状ではないかと思う。先ほどのホールの利用率があったが、このホールでは、大体社会教育関係団体がやるとか、ある団体で、ここのホールでやってる方はここのホールで絶えず演奏会をするだとか、そういう形になっているのではないかと思う。私の方はいろんな企画会社とタイアップしながら、市民に提供しているわけだが、そういう風な市民サイドの利用形態もあるのではないかと思う。</p> <p>もう一点、財団とかの情報発信が非常に茨木市はまずいと思っている。いろんなところで情報は載るが、それがバラバラである。どこに行けば全体の情報がわかるのかと。こちらも検討しながら、私たちの運営するホールでやられる分は、私たちの講演情報だけでなく、財団が関係しない催しも情報として提供しているが、私たちの管理していないホールでやられている情報までには至っていない。市はコンサートや芸術関係事業について、市は市で出していますという感じが実感としてはある。当然、これは、我々を含めての話になるが、ソフト部門は、一緒にやっていくということが絶対必要であるし、互いがある程度の共通認識を持って進んでいかなければ、一つのものとしてみんながそれに協力しようとしないと難しいと思う。</p>
委員	<p>文化振興の委員会は、市民には楽器をやられる方も多くいらっしゃるのので、この際ホールで、市民のオーケストラを育てていこうと、そういうコンセンサスで、市も全員で取り組んでいくというような動きがあってもいいのではないかと思う。</p>
委員	<p>それも常に考えてはいるが、茨木市の人口が27万1500人。音楽芸術協会が大体把握している専門でされている方を全部集めても、オーケストラができる人数にはちょっと厳しい状況ではある。茨木市ではないが、15年くらい前に、オーケストラができた。立ち上げて2年くらいで続かなくなった。それはおそらく、社員のなものとかがいろんな問題があったと思う。</p> <p>河内長野のラブリーホールにしても、あそこは大阪交響楽団が本拠地にして、そこでオペラなんかもかなり積極的にやっているということもある。</p> <p>オーケストラがあれば、いろいろなことができる。今の兵庫県芸にも管弦楽団が1つあるが、そこは23歳くらいを上限としており、3年間しかいられないので、そこからは予算が増えないようにできている。上手いやり方である。それでいて、精度が高いので、お金を取っての演奏会、そして、オペラでもなんでもできると、そういう風なシステムが非常にうまく機能している。うらやましいところである。ブラスバンドは茨木にもあるが、オーケストラというものがやっぱりいいなあと。それで、立命館大学もオ</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員	<p>オーケストラが非常に熱心で、関西の大学の中でも3本の指に入るくらいの実力を持ったオーケストラを持っているので、今度来たときにはまずは大学との提携を用いながら、茨木のオペラにしても歌とかいろんなことにリンクしていくということも一つだと考えられる。</p> <p>確かに、オーケストラ一つ持ってる市というのは、ステータスがある。</p>
委員	<p>そんなにレベルが高なくて、アマチュアの市民によるオーケストラで良いと思う。</p>
委員	<p>当然、無料というわけではいけないと思うが、有料である場合には、責任を持った演奏をしなければいけない。一つの案としてしか出せませんが、一つのオペラを公演するにあたって、大ホールで2000円をとって、学生のオーケストラで対応できるのか。実は今度の8月にびわ湖ホールで立命館が、カルメンというオペラを上演する。その指導に私も行くが、どれくらいの精度を持っているのかちょっと確かめてきたいと思っている。オーケストラに関しては、今一番近いところではそういうところである。</p>
委員	<p>文化に関して、食に絡めて、ホールに音楽を聴きに来るだけでなく、食事に行けるようなレストランを併設する企画があると良いと思う。</p> <p>ヨーロッパではコンサートの前にワインをいただいて、それから聞いたりとか食事をしてからとかある。ちょっと先取りをした話だが、楽しいホールにしたい。</p>
委員	<p>それに関連し、会場の中に入ったロビーが社交場。これからの理想論に入れさせていただいたが、一步会館の中に入った瞬間に、今までの雑踏みたいなものをずっと忘れられるような空間と、社交場というところとちょっと大げさだが、そこで日常のことを忘れて、みんなで会話ができるような、そういう風な空間ができればいいなと思う。</p> <p>ソフトの面では、先生と呼ばれて、サークル活動するということに関して、新潟県魚沼市小出郷の文化会館の話がある。これは本になっているが、3つの町が統合されて小出郷というところができ、町の大工さん、お医者さんも委員会に入っていて、大工さんが館長さんということで、どういうことかと思い本を読んだ。国からの補助金をもらう本当にぎりぎりの時期になった時に、いきなり大工さんたちがトップに話をして、なんとか800くらいだったと思いますがホールが立ち上り、そして稼働率が90数%となっている。そこにリコーダーの教室とか、子供たちが集まれる教室ができ</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員長	<p>て、東京のテレビのリコーダー教室や、NHKのリコーダー講座の人をお呼びして運営している。そうするとみなさん上手になりたくて集まる。そういう風にして、ホールに子供たちの活気が出ているということで非常にうらやましいなと思った。</p> <p>いろいろ情報をご指摘いただきありがたい。いくつか出た中で、食事とか、交通アクセスの問題とか、付帯事項に関わることも話に出ているので、その扱いをどうしたらいいのかということも次回までに事務局の方でも考えていただきたい。</p> <p>少し資料として出てきたので、自治体で文化塾とか、オーケストラ、劇団を持つてるとかの情報が分かれば、私の方でもちょっとお手伝いするが、東京の墨田区では、トリフォニーホールというのがあり、オーケストラもある。また、オーケストラの組織をどういう風にするのかということもいろいろ難しい面もあろうかと思う。大阪の場合はセンチュリーが公共事業改革で、御苦労されていたかと思う。オーケストラは一つの例であるが、邦楽でもなんでもいいと思うが、この間の茨木市出身の方のリストを見ると、意外とソフトに言えばユーモア系というか、俗っぽく言うとお笑い系というかそういった方もずいぶん出てきている。それから前回の議論でいうと川端康成文学とホールは直接関係ないんじゃないかという感じもあるが、新しい形でいろんな文学をそういうホールで使って何かをしようとする動きとか、いろんな動きが出ているので、オーケストラが一番議論しやすいとは思っているので、オーケストラを念頭に置きながら、要は委員のおっしゃったような、折角ホールがあるのだから、そこにソフトの中核になるような、教育施設とか、ネットワークの核になるようなもの、そういったものの事例等がもしわかれば事務局の方で出していただくなり、委員さんのほうでもお持ちの情報があれば、事務局の方に伝えていただけたらと思う。</p> <p>ロビーのこともずいぶん出た。ロビーについて情報をとるのは難しいか。実際に行ってみないとなかなか分からないが、ロビーが結構カギだよという感じのご意見もあった。委員の方で、もし写真等をお持ちの方があればちょっと事務局の方に出していただければと思う。</p> <p>一つターゲットとして出たのは、子供たちということも出ていた。これについては、例えば、立命館の方は別だから、別だということにしてもいいのかもしれないが、やはり 1000 人規模のホールということであれば、一番のメインターゲットを学生中心にするのか、地域貢献として作るのか、その辺のところのことが分かればよい。あるいは図面等が入手可能であれば、いただいて、次回に出していただけたらと思う。もちろん、市は市で考えてもいいが、やはりこの近さで、まったく同じコンセプトで同じ規</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>模のものを瓜二つに作るというやっぱり無駄なことになるかと思う。</p> <p>それから、こういう議論だと毎回悩ましいところだが、いわゆる鑑賞型、ハイクオリティなものを提供できるような形のもの、市民参加で使っていただくというところを、これは両面あるし、どちらか一つということではないにしろ、どういう格好で折り合いをつけていくのかと、いうこともあろうかと思う。</p> <p>みなさん御承知かと思うが、最初に芸術という形で名を打ったのは、1981年の宮城県の中新田町、今は加美町というところに合併したのですが、田んぼの中のコンサートホールということで、バッハホールというのができた。1981年だと思うが、それから結構な勢いで、相当ハイクオリティを狙ったものができた。先ほど小出郷の話も出たが、有名などころでは、水戸の芸術館がそういう路線でやっている。一方で市民からは、自分たちの発表の場がほしいという声の中で、どうしていくのか、というようないろんなことがある。</p> <p>大体そんな形で、議論が出されたが、2回ずつくらいしか発言していただいていないので、追加的にご発言とかご質問とかあればいただきたい。</p>
委員	<p>市民会館のハードの面になった場合に、サークル活動をしていいのではないかということで、それに対応できるようなホールの形状というか、レッスン室のような、リハーサル室のようなものも考慮にいった設計が必要になってくるのではないかと思う。バイオリン教室にしても、いろんな教室にしても、大ホール・小ホールのみでなく、それ以外のものに関して、設備・施設を考慮に入れておく必要があると思う。</p>
委員長	<p>レッスン室という形でもかなりコンセプトをはっきりさせていくということか。</p>
委員	<p>そういう形が理想であると思う。私たちの中でも話をしている、一番利用しやすいのは、例えば、そこのドリームホール的なホールが大・小だけでなく、可能であれば、同じ建物の中に2つ、もしくは3つくらいあれば、本当に良い練習場にもなるし、演奏、サロンコンサートの場にもなるし、ということで一番利用度が高い部分であると、話の中では出てくる。</p>
委員	<p>今のリハーサル室の話では、例えば、昔フェスティバルホールがあった時に、下にリサイタルホールがあったが、リサイタルホールは独立してホールとし、関西合唱連盟や、関西の企業の合唱団が20か30くらいやるときに、そこのリサイタルホールがリハーサル室として使われていて、すご</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>い大移動が行われていた。そういう2つのホールの動線をうまく作ってあればそういう使い方もできる。あとは、伊丹ホールという、北摂の方にあるが、その地下に、まさにリハーサル室のような、劇場ではなくて、鏡張りのリハーサル室があり、そこが独立して練習室として使われていたりして、そこでは、よくバレエの発表会の時に練習をするのに、そこだけを借りるという運営の仕方をされていて、そういう事例も情報収集されると良いかと思う。結構ユニークな劇場がいくつもある。</p> <p>先ほど、市民オーケストラの話が出たが、一つは市民オーケストラもそうである。オーケストラをすると合唱付きのも出てくるので、例えば、茨木を一つの音楽に力を入れて文化振興にするんだと、音楽の都にするんだということであれば、かなりいろいろなやり方ができるかと思う。音楽に限らないが、まず、その場合は、音響をはじめとするハード面で、音楽に携わる人間が憧れるホールであること。ここに立ちたいと憧れる、サントリーホールとかシンフォニーホールは音響が素晴らしい。大阪フェスティバルホールもすごいが、ここで演奏したいと思わせるというところでは、今やプロも頑張っている若者も一緒なので、そこはレベルを下げずに、完璧にプロも憧れる、ここに立ちたいと思うハードにするべきだと思う。</p> <p>あとは、ソフトの連携では、小学校、中学校。市立中学校では授業の中で必ず、合唱コンクールがどこでもあると思う。必ず学年で1位のクラスを決めるので、その茨木市立中学校対抗合唱コンクールというのをここでやる。高校では、必ずブラバン、中学校もブラバンがあるが、中高のブラバンで、茨木市のコンクールをやるということで、全体的に茨木市の音楽レベルが小・中・高と上がってくるので、そういうところの会場に例えば立命館の合唱団を呼んできたり、オーケストラを呼んできたりする。「お兄さんたち、お姉さんたちすごいな」というような交流ができたり、大学生の方も得意げになっていき誇りに思えるのではないだろうか。世代間交流もできるし、大学のキャンパスに遊びに行くという、その会館の交流も含めて、例えば音楽に力を入れるということも、思い切って宣言するという文化振興施策にするのであれば、そういうことがソフトの方もできてきて、それを反映できるハードということで、ものすごく筋の通ったハードづくりというのが、できるかなと思う。そういう意味では、たぶん立命館のホールよりかは、仕様を強化していただいて、積極性のある文化づくりができるかなと思う。</p>
委員長	<p>大変魅力的な提案である。今の音楽というのは議論のベースとして音楽ということで。前の市民委員の方は絶対演劇だということだったが、ちょっと今まで出なかったバレエという話があったが、ダンスのことについて</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>も、そういうことがあるかと思う。民族博物館の話になるが、一昨日の日曜日に「音楽の祭日」というイベントをした。</p> <p>これは、無料で音楽を提供するという事で、いろんな音楽をやる方に集まっていたが、こちらは何も打ち出しているわけではないが、民族博物館という場だけで、22か国くらいの音楽・楽器を使ったイベントになった。おそらくまったくご存じないカーイケイケだとか、ウリウリなんというのもある。ウリウリは民博の収蔵庫の中にちゃんとあるが、民博が収蔵していないような楽器を実際に研究して、持って来たり、あるいは東南アジアに赴任していた方が、そこで一生懸命ガムランを習って、ガムランを全部買って持って帰って、そこでサークルを作っているだとか、実は、少なくとも私が想像していた以上に日本の方々の文化水準というものは非常に高くなっている。経済的な要因だけでない教室を持っていて、逆に言うて発表の機会がなかなかないということで、民族博物館でやるんだったら自分の音楽がコンセプトに合うのかなという人がたまたま集まっただけで、7,000人観客が集まった。</p>
委員	<p>何日間ですか。</p>
委員長	<p>1日。20数組の人たちが、入れ代わり立ち代わり無料で演奏し、1日7,000人集まった。とにかく参加者が多い。参加者の知り合いが見に来るといこともあるが、それにしても12回やってきて、毎年見たこともない楽器を使ったりしている。すごいところになると衣装も自分たちで作って、見たこともないような衣装を全部そろえている。相当、日本の文化度というのは、結構低いとかいうのが多いのですが、実際蓋を開けてみるとすごい方々がいらっしゃって、それだけ時間とお金を持った方、あるいは、東京なんかでよくあるのは、さっきちょっと出てましたが、高校の演劇部とか、そういった人たちがリタイアされて、今同窓会ブームで、戻ってまた同窓会をやると。もう一度やりだしたりとか、そういったようなケースが非常に多くなっている。</p> <p>スポーツの場合は甲子園に始まり、全国大会とか結構あるが、こういう音楽とか、文化もあることにはあるが、そういうところのメッカになるような建物が、いったいどういうものなのかということも少し考えてもいいのでは思う。</p> <p>結構いろんな意見も出たが、最後に何か是非とか、こういう情報を持っている方はぜひ使ってくれとかあれば、事前に事務局までお送りいただけたらと思う。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員長	<p>できれば、ロビーの写真とか、なかなか事務局が情報を集めにくいものがあれば、是非、提供いただきたい。</p>
委員	<p>近隣の市民会館。一番近いところと言えば高槻市市民会館が建替える予定もあるということが載ってたが、高槻は人口が 35 万人くらいだと思うが、本腰入れていいものを建てようと思えばかなりいいものが建つと思う。</p> <p>やはり茨木市であそこの東口に建つとすれば、勝ち負けの問題ではないが、構造面も良くて、おそらく多目的という形のホールが建つような気がするが、その場合でも、音響というものを一番大事に、これは特にあげたいものである。先ほどおっしゃっていた合唱コンクールなり、吹奏楽コンクールなり、それは地区予選というのが、このあたりではメイシアターが今使われていて、1300 くらいの客席数ですが、使い勝手は、搬入などはそんなに良いとは思わないが、響きがいい。それから、楽屋が比較的充実しているとかいろんな条件がそろって、あそこが北摂地区の地区予選の会場になっているが、ぜひ茨木にいろんな北摂の人たちに集まってもらえるようなそんなホールにしていけたらいいなと感じる。</p>
委員長	<p>他にないか。今日はたくさんのご意見をいただき、非常に夢のある話もたくさん出た。是非、今後に向けて、また、会議の席上だけでなく、事務局とのコミュニケーションを図っていただけたらと思う。</p> <p>今日の会議については、ここでいったん終了とさせていただきます。</p>
事務局	<p>次回の委員会の日程は、8月28日(木)午後1時からを予定している。なお、会場については後日連絡するので、よろしく願いしたい。</p>
事務局	<p>先ほどのスケジュールについて、資料7に大まかなスケジュール案を書いている。文化芸術ホールの専門部会については、ナンバー2のところ。全体で3回を考えている。スケジュールの2行目の2番のところ。2回目は②で、日付を書いていないが、8月28日ということをお願いする。</p> <p>あと、その他ということで、資料6、茨木市文化振興施策の策定について、文化芸術関係団体に意見を聞く会というのを5月19日に開催させていただき、また、いろんなアンケート調査にもご協力いただいた。参加していただいたのは13団体18人の方だが、その中でいろいろご意見等いただいた。ここで、一つ一つ紹介はしないが、下に質問意見等ということで、こういった話がでたということで、紹介しておく。</p> <p>先ほど委員長からあったように、いったんこの会議は3時で終わり、最初に説明した市民会館の大ホールを見学させていただいて、阪急茨木市駅</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員長	<p>の東口の駐輪場・駐車場、計画を検討している敷地を最後に見に行って駅前解散とさせていただく。時間は4時くらいを考えているのでよろしくお願いしたい。</p> <p>時間的にはこのあと10分ほど休憩し、3時10分にこの場に集まっていただき、徒歩で市民会館へ移動ということでよろしくお願いしたい。</p> <p>これで文化芸術ホール建設基本構想策定専門部会を閉会する。</p> <p>閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>